

オフロキサシン錠 100mg「ツルハラ」使用上の注意改訂のお知らせ

拝啓、時下益々ご清祥の段お慶び申し上げます。

平素は弊社製品に対し格別のお引き立てを賜り厚く御礼申し上げます。

この度、オフロキサシン錠 100mg「ツルハラ」の使用上の注意を下記のとおり自主改訂致しましたのでご連絡申し上げます。

今後のご使用に際しましては、新しい〔使用上の注意〕をご参照下さいますようお願い申し上げます。

敬具

記

「相互作用 併用注意」の項を下記のとおり改訂致します。(下線部改訂箇所)

改 訂 後			改 訂 前		
併用注意			併用注意		
薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子	薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
フェニル酢酸系またはプロピオン酸系非ステロイド性消炎鎮痛薬(フルルピロフェン等)	痙攣を起こすおそれがある。	中枢神経におけるGABA _A 受容体への結合阻害が増強されると考えられている。	フェニル酢酸系またはプロピオン酸系非ステロイド性消炎鎮痛薬(フェンブフェン等)	痙攣を起こすおそれがある。	中枢神経におけるGABA _A 受容体への結合阻害が増強されると考えられている。
アルミニウムまたはマグネシウム含有の制酸薬等鉄剤	本剤の効果が減弱されるおそれがある。これらの薬剤は本剤投与1～2時間後に投与する。	これらの薬剤とキレートを形成し、本剤の吸収が低下すると考えられている。	アルミニウムまたはマグネシウム含有の制酸薬等鉄剤	本剤の効果が減弱されるおそれがある。これらの薬剤は本剤投与1～2時間後に投与する。	これらの薬剤とキレートを形成し、本剤の吸収が低下すると考えられている。
クマリン系抗凝固剤(ワルファリン)	ワルファリンの作用を増強し、プロトロンビン時間の延長が認められたとの報告がある。	ワルファリンの肝代謝を抑制、または蛋白結合部位での置換により遊離ワルファリンが増加する等と考えられている。	クマリン系抗凝固剤(ワルファリン)	ワルファリンの作用を増強し、プロトロンビン時間の延長が認められたとの報告がある。	ワルファリンの肝代謝を抑制、または蛋白結合部位での置換により遊離ワルファリンが増加する等と考えられている。

「重大な副作用」の項を下記のとおり改訂致します。(下線部改訂箇所)

改 訂 後	改 訂 前
<p>1) 重大な副作用(頻度不明)</p> <p>下記の重大な副作用があらわれることがあるので、観察を十分に行い、異常が認められた場合には投与を中止し、適切な処置を行うこと。</p> <p>1. ショック、アナフィラキシー様症状(初期症状: 紅斑、悪寒、呼吸困難等)</p> <p>2. 中毒性表皮壊死症(Lyell症候群)、皮膚粘膜眼症候群(Stevens-Johnson症候群)</p> <p>3. 痙攣</p> <p>4. 急性腎不全、間質性腎炎</p> <p>5. 肝機能障害、黄疸(初期症状: 嘔気・嘔吐、食欲不振、倦怠感、掻痒等)</p> <p>6. 無顆粒球症(初期症状: 発熱、咽頭痛、倦怠感等)</p> <p>7. 汎血球減少症</p> <p>8. 血小板減少</p> <p>9. 溶血性貧血(症状: ヘモグロビン尿)</p> <p>10. 間質性肺炎、好酸球性肺炎(症状: 発熱、咳嗽、呼吸困難、胸部X線異常、好酸球増多等)(処置方法: 副腎皮質ホルモン剤投与等)</p> <p>11. 偽膜性大腸炎等の血便を伴う重篤な大腸炎(症状: 腹痛、頻回の下痢等)</p> <p>12. 横紋筋融解症(急激な腎機能悪化を伴うことがある)(症状: 筋肉痛、脱力感、CK(CPK)上昇、血中および尿中ミオグロビン上昇等)</p> <p>13. 低血糖(糖尿病患者(特にスルホニルウレア系薬剤やインスリン製剤等を投与している患者)、腎機能障害患者であらわれやすい。)</p> <p>14. アキレス腱炎、腱断裂等の腱障害(症状: 腱周辺の痛み、浮腫)</p> <p>15. 錯乱等の精神症状</p> <p>16. 過敏性血管炎(症状: 発熱、腹痛、関節痛、紫斑、斑状丘疹、皮膚生検で白血球破砕性血管炎等)</p> <p>17. 抑うつ</p>	<p>1) 重大な副作用(頻度不明)</p> <p>下記の重大な副作用があらわれることがあるので、観察を十分に行い、異常が認められた場合には投与を中止し、適切な処置を行うこと。</p> <p>1. ショック、アナフィラキシー様症状(初期症状: 紅斑、悪寒、呼吸困難等)</p> <p>2. 中毒性表皮壊死症(Lyell症候群)、皮膚粘膜眼症候群(Stevens-Johnson症候群)</p> <p>3. 痙攣</p> <p>4. 急性腎不全、間質性腎炎</p> <p>5. 肝機能障害、黄疸(初期症状: 嘔気・嘔吐、食欲不振、倦怠感、掻痒等)</p> <p>6. 無顆粒球症(初期症状: 発熱、咽頭痛、倦怠感等)</p> <p>7. 汎血球減少症</p> <p>8. 血小板減少</p> <p>9. 溶血性貧血(症状: ヘモグロビン尿)</p> <p>10. 間質性肺炎、好酸球性肺炎(症状: 発熱、咳嗽、呼吸困難、胸部X線異常、好酸球増多等)(処置方法: 副腎皮質ホルモン剤投与等)</p> <p>11. 偽膜性大腸炎等の血便を伴う重篤な大腸炎(症状: 腹痛、頻回の下痢等)</p> <p>12. 横紋筋融解症(急激な腎機能悪化を伴うことがある)(症状: 筋肉痛、脱力感、CK(CPK)上昇、血中および尿中ミオグロビン上昇等)</p> <p>13. 低血糖(糖尿病患者、腎障害患者であらわれやすい。)</p> <p>14. アキレス腱炎、腱断裂等の腱障害(症状: 腱周辺の痛み、浮腫)</p> <p>15. 錯乱等の精神症状</p> <p>16. 過敏性血管炎(症状: 発熱、腹痛、関節痛、紫斑、斑状丘疹、皮膚生検で白血球破砕性血管炎等)</p> <p>17. 抑うつ</p>